

○公立大学法人青森県立保健大学 平成21年度 第6回役員会 議事概要

日 時	平成22年3月10日(水) 10:30~12:00
場 所	青森県立保健大学 管理・図書館棟2階大会議室
出席者	リボウイツ理事長、上泉副理事長、小山石理事、鈴木理事、藤田理事、武田理事、山田監事(小原監事は11:20頃から出席)
配布資料	<p>【報告事項】</p> <p>① 平成22年度理事及び部局長等の人事について……………資料1</p> <p>② 大学基準協会大学評価結果(最終案)について……………資料2</p> <p>【審議事項】</p> <p>① 教員の人事について……………資料3-2、 3-3(回収)</p> <p>② 名誉教授・客員教授について……………資料4-1、 4-2(回収)</p> <p>③ 「平成21年度計画の達成状況」及び「平成22年度計画」 に係る作成状況について……………資料5-1、 5-2</p> <p>④ 諸規程の改正について……………資料6</p> <p>⑤ 平成21年度2月補正予算案について……………資料7</p> <p>⑥ 平成22年度当初予算案について……………資料8</p> <p>⑦ 平成22年度役員会及び両審議會の開催日程について…資料9</p> <p>【その他】</p> <p>① 1月の記者発表済み資料について……………参考資料1</p> <p>② その他</p>
議 事	<p>【開会】</p> <p>定款の定めに従い、会議が成立することを確認し、開会した。 理事長から、大雪の中出席いただき感謝する旨のあいさつがあった。</p> <p>2 議事</p> <p>【報告事項】</p> <p>① 平成22年度理事及び部局長等の人事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長から、資料1により、平成22年度の理事及び部局長について説明があった。 <p>② 大学基準協会大学評価結果(最終案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び鈴木理事から資料2により、大学基準協会大学評価結果(最終案)について説明があった。 ・これまでやりとりを行ってきた結果、適合認定を受けられる見込みとなった。評価結果案には「Ⅱ 総評」のほか、「Ⅲ 大学に対する提言」として、長所1項目、助言(改善を要する事項)7項目が記載されている。「助言」については大学として早急に対応し、よりよい大学としていきたいと考えている。

議 事	<p>【審議事項】</p> <p>① 教員の人事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び藤田理事から、資料3-2により、栄養学科教授の選考結果について説明があり、特に異議等はなく採用について承認された。 ・理事長から、資料3-3により、看護学科助教の選考結果について説明があり、特に異議等はなく採用について承認された。 <p>② 名誉教授・客員教授について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長から、資料4-1により、名誉教授候補者1名の推薦理由について説明があり、特に異議等はなく、候補者を名誉教授とすることが承認された。 ・理事長から、資料4-2により、客員教授候補者4名の推薦理由について説明があり、特に異議等はなく、候補者4名を平成22年度も客員教授とすることが承認された。 <p>③ 「平成21年度計画の達成状況」及び「平成22年度計画」に係る作成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長から、資料5-1及び5-2により、平成21年度計画及び平成22年度計画の概要について説明があり、特に異議等はなく、承認された。 <p>④ 諸規程の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局担当者から、資料6（差替版）により、平成22年度を迎えるにあたり、新設及び改正を要する規程の改正理由等について説明があった。また、再試験受験料の設定について、理事長から、学生の学習の動機付けになればと思い、実施することとした旨説明があった。特に異議等はなく、承認された。 <p>⑤ 平成21年度2月補正予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局大西主査から、資料7により、今回の補正予算は、大学の運営状況を踏まえ、主に学生納付金等自己収入の納入状況、大学運営経費の執行状況及び外部資金事業費の精査に伴い、歳入、歳出それぞれ所要の補正を行うとの説明があり、特に異議等はなく、承認された。 <p>⑥ 平成22年度当初予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局大西主査から、資料8により、平成22年度当初予算案の概要について説明があった。 <ul style="list-style-type: none"> ア 教員人件費について、本学見込額は、運営費交付金算定ルールにより算定される額より43,390千円多くなっている。 イ 人件費合計では、同様に47,366千円多くなっている。 ウ この差額は物件費△60,571千円によりカバーされる形である。 エ 自己収入については、本学見込額は、運営費交付金算定ルールにより算定される額より8,015千円少なくなっている。 オ 平成22年度当初予算額は平成21年度当初予算に比べ、金額で28,656千円の減、率にして1.5%の減となっている。 カ 平成22年度授業料収入は、定員増により、今年度より増える。 キ 教員個人研究費の単価は変更なし。
-----	--

<p>議 事</p>	<p>ク 院生研究費については、直接支給する形から担当教員に成果配分として支給する形に改める。</p> <p>ケ 看護技術スキルアップ研修は事業終了により皆減となる。</p> <p>コ 中期的には平成23年度までは差引プラスとなるが、平成24年度以降は歳出超過となり、それでも平成20年度決算で生じた剰余金 83,868 千円があるため、平成25年度までで、86,393 千円のプラスとなる見込みである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これに対して、武田理事から、22年度当初予算を、通常は今年度最終（現計）予算と比較すべきと思うが、21年度当初予算と比較するのはなぜかとの質問があった。 ・併せて、教員人件費は21年度当初予算との比較では、1.6%のアップであるが、21年度現計予算との比較では6.3%のアップとなっており、これが本当に妥当かとの議論もあると思われるが、当初予算との比較ではこういった検討ができないとの意見があった。 ・これに対して、小山石理事から、県時代の慣習として、前年度当初予算との比較を行ってきたものであるが、今後、比較・分析の仕方について検討する旨の回答があった。 ・小原監事から、教員の人数について、運営費交付金の算定基礎となっている100名と実際の人数の105名の乖離が生じた事情について質問があった。 ・これに対して理事長及び小山石理事から、平成19年度にルールを設定した際は、何名が適当ということではなく、開学以来の最大の在籍者人数が100名であり、その人件費の範囲内で運用は任せるという考え方であったが、今般ようやく必要なポジションがすべて埋まり、105名となったものである旨の説明があった。 ・また、小山石理事から、今後運営費交付金の人件費部分が1%ずつ減額となるため、定数管理に取り組んでいかなければならず、また、長期的には、次期中期計画期間に向けて、国立大学運営費交付金の削減方針撤回を参考に本学の運営費交付金の削減方針の見直しを要請していかなければならないとの説明があった。 ・以上の議論を経て平成22年度当初予算案について承認された。 <p>⑦ 平成22年度役員会及び両審議会の開催日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長から、資料9により、役員会の開催予定について説明したところ、武田理事は4月21日は出席不可とのことであり、再度日程調整を行うこととされた。 <p>【その他】</p> <p>① 1月の記者発表済み資料について 理事長から参考資料1により記者発表の概要について説明があった。</p> <p>② その他 なし</p>
------------	--